

## JSBB 学童野球活動実態調査

### 調査目的

本調査は、学童野球活動現場の改善及び活性化を図るとともに、指導環境、活動実態、コンプライアンス体制等の現状を把握することを目的として実施するものです。

調査結果は、学童野球の普及振興／指導者養成／ハラスメント防止施策／大会制度／活動環境／ユニフォーム規程 等の検討資料として活用します。

### 回答にあたってのお願い

本調査は、学童野球全体の実態把握及び制度改善を目的とするものであり、回答内容を基に個別の調査、指導、処分等を行うことはありません。また、個人やチームを特定する目的で使用することはありません。

学童野球活動現場の改善及び活性化に向けた貴重な資料となりますので、日頃感じていることや実態について率直にご回答ください。なお、ご回答は1チーム1回答としてください。

回答フォーム:Google フォーム <https://forms.gle/qvd1xjf992dwozVL9>

回答締め切り:7月17日(金)

\*所要時間約7分～10分



### I. 基本情報

Q1 所属都道府県

Q2 あなたの立場

- 監督
- コーチ
- 代表

Q3 指導歴

- 5年未満
- 5～10年
- 11～20年
- 21年以上

Q4 保有資格(複数回答可)

- JSBB 公認学童コーチ
- JSPO スタートコーチ(ジュニア・ユース)
- JSPO スポーツコーチングリーダー
- JSPO コーチ1 (軟式野球)
- JSPO コーチ3 (軟式野球)
- BFJ 公認指導者基礎 I U-12
- その他
- 保有資格なし

### Q5 チーム内の JSBB 公認学童コーチ資格保有者数

現在チームに所属している指導者のうち、JSBB 公認学童コーチ資格を保有している人数をご回答ください。

- 1名
- 2名
- 3名
- 4名以上
- 分からない

## II. コンプライアンス体制

(説明)

以下の設問は、チーム内のコンプライアンス体制及び JSBB が示す指導理念の浸透状況を確認するためのものです。

Q6 あなたのチームでは、チーム運営や指導方針等を定めた規約・ルール等を設けていますか。

- 文書化している
- 文書化していないがルールはある
- 特に設けていない
- わからない

Q7 Q6 で「文書化している」「文書化していないがルールはある」と回答した方にお聞きします。その内容について、指導者及び保護者にどのように説明・共有していますか。(複数回答可)

- 毎年説明している
- 入団時に必ず説明している
- 必要に応じて説明している
- 配布のみしている
- 説明・共有していない

Q8 チーム内でコンプライアンスやハラスメント防止について話し合う機会がありますか。

- 定期的にある
- 年1回程度
- 必要時のみ
- ない

Q9 チーム内にハラスメント防止に関するルールや相談・対応手順がありますか。

- 文書化している
- 口頭で共有している
- 特にない
- 分からない

## III. 指導実態

(説明)

以下の設問は、学童野球における指導の実態を把握するためのものです。

過去1年間において、ご自身のチーム、または周囲の学童野球の現場で見かける場面として、最も近いものを選択してください。

\*本調査は実態把握のみを目的としており、回答内容によってチームや個人が特定・処分されることは一切ありません

**Q10 ミスをした選手を強く叱責する場面があった**

- よくあった
- 時々あった
- あまりなかった
- 全くなかった

**Q11 他の選手の前で選手を叱責する場面があった**

- よくあった
- 時々あった
- あまりなかった
- 全くなかった

**Q12 「やる気がないなら帰れ」などの発言をする場面があった**

- よくあった
- 時々あった
- あまりなかった
- 全くなかった

**Q13 選手の能力や人格を否定する発言(例:「そんなこともできないのか」「向いていない」など)をする場面があった**

- よくあった
- 時々あった
- あまりなかった
- 全くなかった

**Q14 指導者が感情的になり、後から振り返ると不適切だったと思う指導をした場面があった**

- よくあった
- 時々あった
- あまりなかった
- 全くなかった

#### IV. 暴言・ハラスメントに関する認識

**Q15 あなたは現在の学童野球において暴言・ハラスメントの問題は深刻だと思いますか。**

- 非常に深刻
- やや深刻
- あまり深刻ではない
- 深刻ではない
- 分からない

**Q16 暴言や不適切指導が発生する主な要因は何だと思えますか。(3 つまで選択)**

- 勝利至上主義
- 指導者教育不足
- 保護者からの期待
- 指導者不足
- 指導者のストレス
- 世代間の価値観の違い
- チーム内のハラスメント防止体制・ルール不足
- SNS 等による過度な競争意識
- その他

**Q17 暴言・ハラスメント防止のため、JSBB が今後優先して取り組むべき施策は何だと思えますか。(3 つまで選択)**

- 学童部指導指針の周知・啓発強化
- 指導者講習会の充実
- JSBB 公認学童コーチ制度の強化
- ハラスメント防止研修の義務化
- 保護者向け啓発
- 通報制度の周知
- 処分基準の明確化
- 優良指導事例の共有
- 匿名化した通報事例の共有
- 指導者同士の相互確認
- 地域組織による巡回・指導
- その他

## **V. 活動実態**

**Q18 週当たりの活動日数**

- 週 2 日以下
- 週 3 日
- 週 4 日
- 週 5 日
- 週 6 日以上

**Q19 週当たりの休養日数**

- 2 日以上
- 1 日
- 不定期
- ほとんどない

**Q20 土日1日当たりの活動時間**

- 3時間未満
- 3～5時間
- 5～7時間
- 7時間以上

**Q21 年間公式戦数**

(説明)

公式戦については、全日本学童大会都道府県予選大会、日本スポーツ少年団主催「エンジョイ！軟式野球フェスティバル予選大会」の他、各ブロック、都道府県、市区町村連盟等が主催する大会も含め、公式戦と扱うことができると思われる公式戦数をご回答ください。

- 10試合未満
- 10～20試合
- 21～30試合
- 31～40試合
- 41試合以上

**Q22 年間練習試合数**

- 10試合未満
- 10～20試合
- 21～40試合
- 41～60試合
- 61試合以上

**VI. 大会制度・オフシーズン**

**Q23 現在の公式戦数についてどう感じますか。(Q21で回答した公式戦数についてお答えください)**

- 多い
- やや多い
- 適切
- やや少ない
- 少ない

**Q24 現在の年間総試合数についてどう感じますか。(公式戦及び練習試合を含めた年間総試合数についてお答えください)**

- 多すぎる
- やや多い
- 適切
- やや少ない
- 少ない

**Q25 大会参加にあたり負担が大きいと感じるものはありますか。ある場合何ですか？(3つまで選択)**

- 選手の身体的負担

- 選手の精神的負担
- 選手の学業との両立
- 保護者の送迎負担
- 保護者の当番・運営負担
- 保護者の経済的負担
- 指導者の負担
- 大会・試合数の多さ
- 宿泊を伴う遠征
- 特に負担は感じない
- その他

**Q26** 試合を行わない期間(オフシーズン)の設定についてどう考えますか。

(説明)オフシーズンとは、「公式戦及び練習試合を行わない期間」を指し、練習中心の活動を制限するものではありません。

参考として、高校野球では、日本高野連が「アウトオブシーズン制度」を設けています。

■日本高野連アウトオブシーズン概要

期間:毎年12月1日～翌年3月第1土曜日

内容:練習試合等を制限し、練習中心の活動期間としている。

\*中体連では、推奨事項としており、期間等の内容は都道府県ごとに設定しています。

- 必要
- どちらかといえば必要
- どちらともいえない
- あまり必要ではない
- 必要ではない

**Q27** オフシーズンを設ける場合、適切な期間はどの程度だと思えますか。

- 設定不要
- 1か月未満
- 1か月程度
- 2か月程度
- 3か月程度
- 4か月以上

## Ⅶ. 育成方針・選手起用

(説明)

以下の設問は、学童野球における選手育成や試合出場機会に関する考え方及び実態についてお伺いするものです。

**Q28** 練習試合や育成を目的とした試合において、出場可能な選手全員に出場機会を与えるよう努めていますか。

- 常に努めている

- 概ね努めている
- あまり努めていない
- 全く努めていない

**Q29** 公式戦において、可能な範囲で多くの選手に出場機会を与えるよう努めていますか。

- 常に努めている
- 概ね努めている
- あまり努めていない
- 全く努めていない

**Q30** 学童野球において、試合出場機会についてどの考え方に最も近いですか。

- 勝敗に関わらず、できるだけ多くの選手に出場機会を与えるべきである
- 勝敗とのバランスを考慮しつつ、できるだけ多くの選手に出場機会を与えるべきである
- 公式戦などの重要な試合では、勝利を優先し、出場機会が限られる選手が生じることもやむを得ない
- 分からない

## **Ⅷ. ユニフォーム(ストレートタイプパンツ)**

(説明)

以下はユニフォーム規程の検討資料とするための設問です。ストレートタイプパンツとは、裾を絞らないロングタイプのパンツを指します。なお、Q33～Q35については、可能な範囲でチーム内の選手の意見も確認したうえでご回答ください。

**Q31** 指導者のストレートタイプパンツ着用についてどう考えますか。

- 認めるべき
- 条件付きで認めるべき
- 認めるべきではない

**Q32** 認める場合に必要な条件(複数回答可)

\*Q31で「認めるべきではない」と回答した方にも条件設定する場合の想定としてお聞きします。

- 裾がスパイクにかからないよう着用する
- ストッキングを着用する
- チーム内で統一する
- 特に条件は不要
- その他

**Q33** 選手からストレートタイプパンツ着用を希望する声はありますか。

- 多くある
- 一部ある
- ほとんどない
- 全くない
- 分からない

Q34 選手のストレートタイプパンツの着用についてどう考えますか。

- 認めるべき
- 条件付きで認めるべき
- 認めるべきではない
- 分からない

Q35 選手に条件付きで認める場合、必要だと思う条件は何ですか。(複数回答可)

\*Q34で「認めるべきではない」と回答した方にも条件設定する場合の想定としてお聞きします。

- 裾がスパイクにかからないよう着用する
- ストッキングを着用する
- チーム内で統一する
- 特に条件は不要
- その他

## IX. 全体の課題と自由記述

Q36 学童野球全体について、現在最も大きな課題だと思えるものを1つ選択してください。

- 競技人口減少
- 指導者不足
- 暴言・ハラスメント
- 保護者負担(送迎・当番等)
- 活動環境(グラウンド確保・施設環境等)
- 暑熱対策
- 大会制度
- 費用負担
- 保護者との関係・対応
- その他

Q37 学童野球におけるコンプライアンス向上のために必要だと思えることをご記入ください。(自由記述)

Q38 JSBB では、近年の猛暑等による暑熱環境の変化を踏まえ、全国大会の開催時期の在り方について検討を行っています。

現在は8月に開催していますが、選手・指導者・大会関係者の安全確保の観点から、開催時期の見直しについても検討しています。

一方で、開催時期を変更する場合には、学校行事や地域大会との日程調整など、様々な課題もあると考えています。全国大会の開催時期・方法に関して、課題や配慮すべき事項、ご意見等がありましたらご記入ください。(自由記述)

Q39 その他、大会制度、オフシーズンの設定、選手育成や試合出場機会の在り方についてご意見がありましたらご記入ください。